

S1 心臓電気生理学検査・心臓カテーテルアブレーションについて

目的；心臓電気生理学的検査を理解し，各検査法の適応に沿って実施し，検査結果から適切に診断し，最適な治療法につなげることができる。カテーテルアブレーション手技の概略が理解できる。

	学年	研修内容	目標	目標経験数	評価
Step1	S1	心臓電気生理学検査・アブレーションの適応について理解する。	心臓電気生理学検査ならびに各種不整脈に対するアブレーションの適応を理解する。またアブレーションで起きうる合併症も理解する。洞結節機能、房室伝導能についての評価をすることが出来る。	N/A	指導医が行う
Step2	S2	心臓電気生理学検査・アブレーションに参加する。	心臓電気生理学検査ならびにアブレーションでの心内心電図を理解する。必要に応じて、内頸静脈、大腿静脈の穿刺、シース挿入を行うことが出来る。	10例	心内心電図をきちんと理解し、正確な不整脈診断が出来るかで判断する。
Step3	S2	心臓電気生理学検査・アブレーションにおいて、電極カテーテルを安全に留置できる。 頻脈を誘発することが出来る。	心臓電気生理学検査ならびにアブレーションにおいて、電極カテーテルを安全に心房、心室に留置することが出来る。頻脈を誘発することが出来る。	10例	透視画像での解剖をきちんと理解し、安全にカテーテルを留置できるかを評価する。

Step4	S3	カテーテルアブレーションの助手をすることが出来る。	指導の下で適切にカテーテルアブレーションの助手をすることが出来る。心房中隔穿刺などのリスクを伴う手技の助手も、手技の内容を理解した上で務めることが出来る。	20 例	指導医が手技を行う際に適切に助手業務が出来ているかを評価する。
-------	----	---------------------------	---	------	---------------------------------